

第54回柏市第二清掃工場運営委員会 報告資料（概要版）

柏市南部クリーンセンター

令和6年8月から令和7年1月までに行った各種測定結果を以下のとおり報告します。

①監視項目（第二清掃工場）

工場から排出される排ガス等の測定結果

②監視項目（周辺環境）

工場周辺環境の測定結果

③報告事項

工場の運転状況

④放射性物質対応経過

焼却灰等の放射能濃度，空間放射線量測定結果

⑤今後の日程（案）

次回の委員会開催日程



① 監視項目（第二清掃工場）

排ガス，ダイオキシン類，放流水，主灰・飛灰固化物，熱灼減量，騒音，振動，悪臭について，保証値※1及び基準値を遵守しました。

監視項目	測定項目数	評価基準
排ガス	6 ※2	保証値（自主基準）
ダイオキシン類	4 (排ガス，放流水， 主灰，飛灰)	保証値（自主基準）
放流水（下水）	43 ※2	下水道法
主灰・飛灰固化物	12 ※2	埋立に係る判定基準
熱灼減量	1（主灰）	保証値（自主基準）
騒音	—	柏市環境保全条例
振動	—	柏市環境保全条例
悪臭	22	悪臭防止法

※1 保証値：法基準より厳しい自主基準

※2 「ダイオキシン類」を除いた項目数

各項目の数値は，
「資料(報告事項等)」の
P1～16をご覧ください



① 監視項目（第二清掃工場）～排ガス～

測定項目	測定結果				保証値
	①8月6日	②10月1日	③11月12日	④1月14日	
ばいじん (g/m ³)	0.001未満				0.01以下
硫黄酸化物(ppm)	1.0未満				10以下
塩化水素 (ppm)	1.0	1.3	0.4未満	0.49	10以下
窒素酸化物 (ppm)	18	15	17	18	30以下
水銀 (μg/m ³)	0.68	0.62	0.47	0.68	30以下
一酸化炭素 (ppm)	5未満				30以下

①監視項目（第二清掃工場）～ダイオキシン類～

測定項目※1	測定結果		保証値
	①11月12日	②1月14日	
排ガス (ng-TEQ/m ³)	0 ※2	0 ※2	0.01以下
飛灰 (ng-TEQ/g)	0.067	0.45	3以下
主灰 (ng-TEQ/g)	0.0015	0.021	3以下
水質(放流水) (pg-TEQ/L)	0.00082	0.00061	10以下

※1 溶融スラグは発生していないため、測定もしていません。

※2日本産業規格 JIS K 0311 2020 で、各化合物の実測濃度が定量下限値未満の場合は「0」と表記することになっています。なお、各化合物の実測濃度の総和の値は、11月12日が0.0073 ng/m³、1月14日が0.0051 ng/m³です。

① 監視項目（第二清掃工場）～熱灼減量～

熱灼減量：焼却炉内でごみがどの程度完全に焼却しているかの評価項目で、熱灼減量が小さいほど、より完全に焼却していることを示します。

測定項目	測定結果						保証値
	①8月6日	②9月3日	③10月1日	④11月12日	⑤12月3日	⑥1月14日	
熱灼減量 (%)	1.1	1.0	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	3以下

②監視項目（周辺環境）

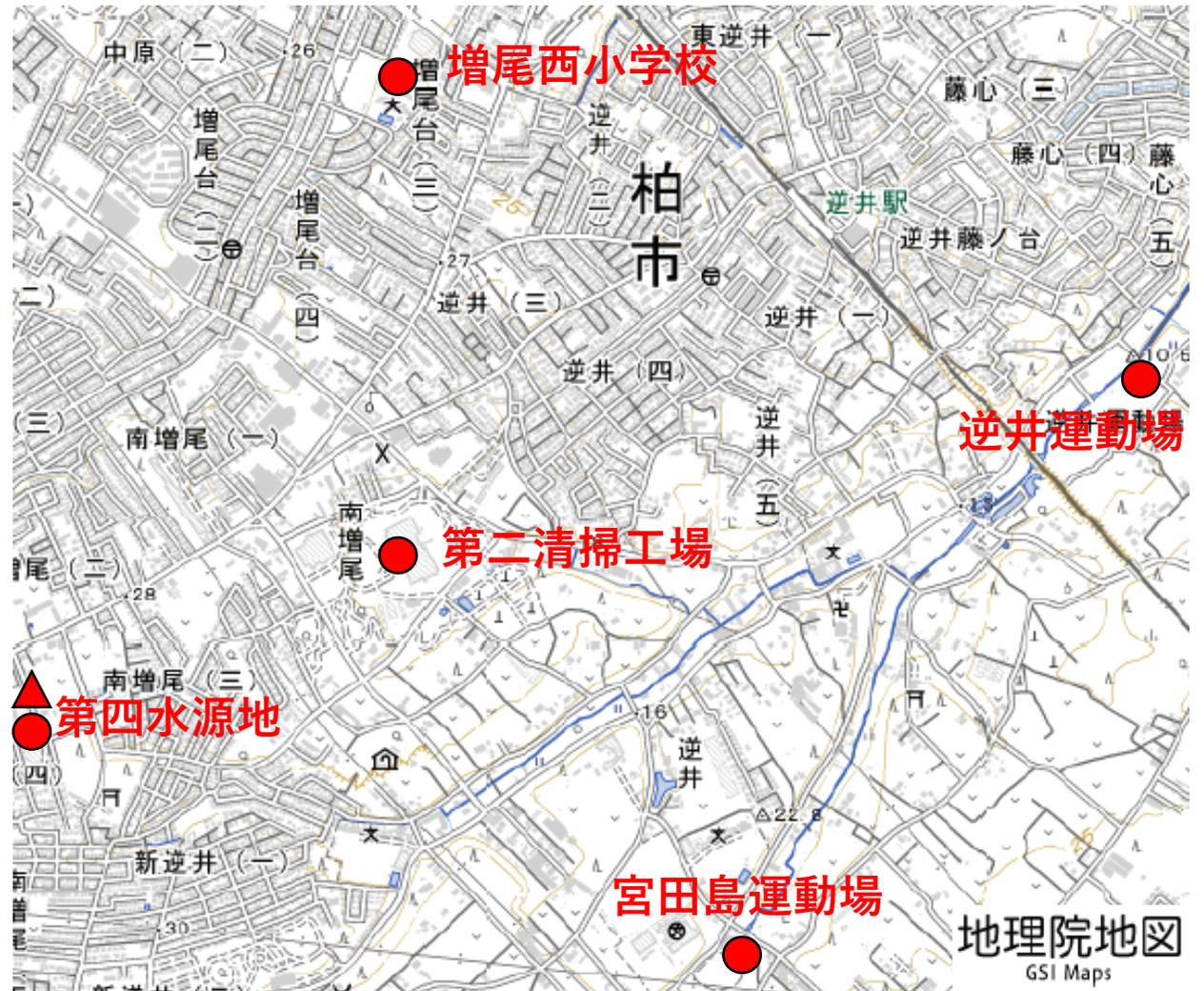
■大気環境

5地点（地図の●）で、ダイオキシン類を測定
※第二清掃工場では二酸化硫黄，二酸化窒素，
浮遊粒子状物質を常時モニタリングしています。

■地下水

柏市上下水道局第四水源地（地図の▲）第7号
井戸において、**55**項目を測定

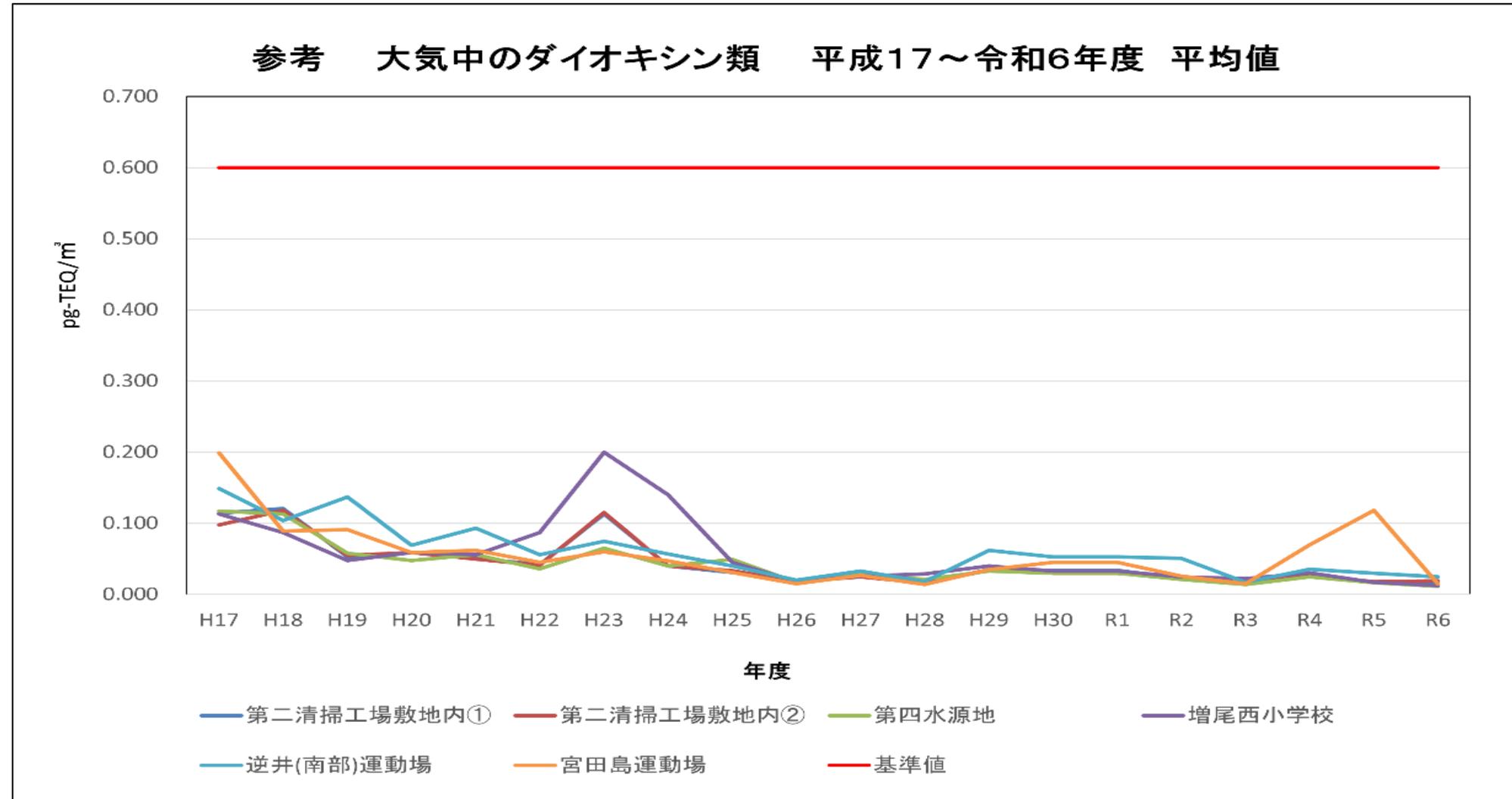
各項目の数値は、
「資料(報告事項
等)」のP17～20
をご覧ください



測定地点

② 監視項目（周辺環境） ～大気環境中のダイオキシン類～

大気環境中のダイオキシン類について、異常値は確認されませんでした。



③ 報告事項

排ガス量について、協定事項（36,540 m³/h）を上回る値が確認されました。その他事故・故障等の異常はありませんでした。

■ 焼却炉稼働日数 1号炉：109日，2号炉：115日 ※停止期間12/26～1/8

■ 焼却量 平均焼却量：129.071 t/日，最大(2炉運転)：237.83 t/日

■ 排ガス量 1号炉最大：31,200 m³/h，2号炉最大：**38,400 m³/h**

■ 排水量 最大：93.12 m³/日

■ 灰溶融炉 運転なし

■ 水素濃度測定 以下の3カ所で、水素濃度の測定を実施

項目	測定最大値（平均値）	評価基準
主灰バイパスコンベア	0.33%（0.02%）	0.8%
加湿機水封部	0.34%（0.03%）	
加湿機駆動部	0.37%（0.03%）	

④放射性物質対応経過

指定廃棄物の保管量（約493t）に増減はありません。

■ 仮保管庫（ボックスカルバート） 約373t

■ 工場建屋内 約120t

焼却灰等の放射能濃度について、異常値は確認されませんでした。

測定項目	測定結果						評価基準
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
主灰 (Bq/kg)	55	86	50	47	27	16	1,000以下
飛灰固化物 (Bq/kg)	270	290	290	250	220	220	1,000以下
放流水 (Bq/L)	不検出						検出されないこと
排出ガス (Bq/m ³)	不検出						検出されないこと



仮保管庫（ボックスカルバート）



主灰

④放射性物質対応経過

空間放射線量測定の結果，異常値は確認されませんでした。

■工場周辺 9地点で測定

■指定廃棄物仮保管庫周辺 5地点で測定



各項目の数値は、「資料(報告事項等)」のP22,23をご覧ください

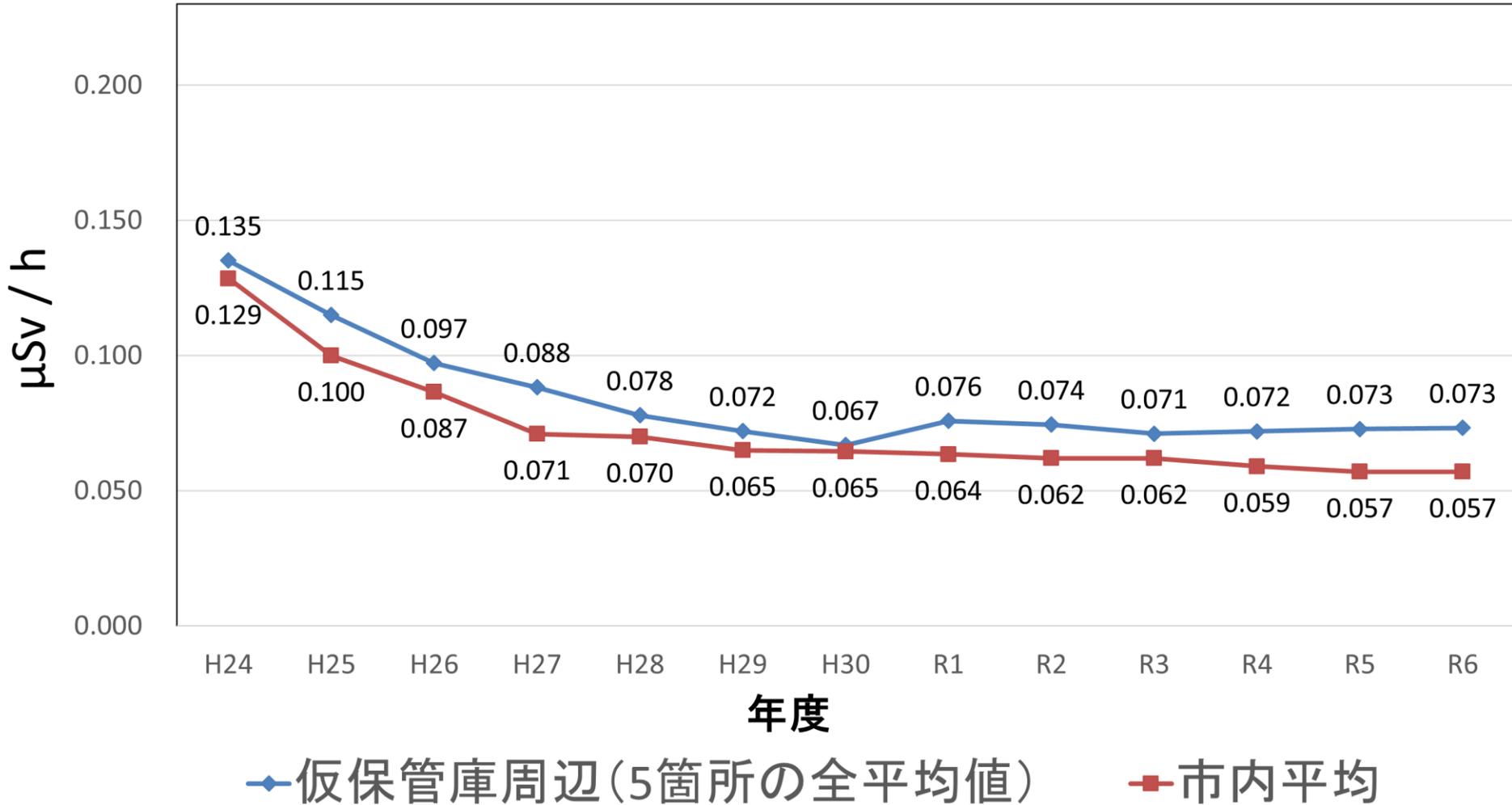


※この放射線量マップにつきましては、平成17年の現地調査をもとに作成した都市計画図を編集したものを使用しています。

拡大図

④放射性物質対応経過

仮保管庫周辺空間放射線量測定結果(平成24年度～令和6年度)



⑤今後の日程（案）

令和7年10月

日	月	火	水	木	金	土
			① 第二候補	2	③ 第一候補	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

候補日

- ① 令和7年10月3日（金）
- ② 10月1日（水）

ご清聴
ありがとう
ございました

